

平成25年度 医療安全管理の取組について【概要】

－ 医療事故・医療安全の取組の報告 －

【横浜市立市民病院・横浜市立脳血管医療センター】

病院経営局が直接運営する市民病院及び脳血管医療センターの、平成25年度における医療事故及び医療安全管理の取組について、報告がまとまりましたので公表します。

1 平成25年度中に発生した一括公表を行う医療事故の件数

「横浜市病院経営局における医療事故の公表に関する指針」6 医療事故の公表基準(3) (別添資料をご参照ください。)に基づき、過失によることが明らかな医療事故(患者に重大な結果が発生した医療事故を除く。)について、年1回一括して公表するもので、平成25年度は、該当する案件はありませんでした。

	23年度	24年度	25年度	対前年度 増 減
市民病院	1件	0件	0件	0件
脳血管医療センター	0件	0件	0件	0件
計	1件	0件	0件	0件

2 主な医療安全の取組について

(1) 市民病院

① RRS (Rapid Response System) の試験的導入

心肺停止など急激な状態変化の予兆に、より早く気づき対応するRRSの構築を目指し、多職種で構成したプロジェクトを設置し、一部試験的導入を開始しました。

② 医療安全研修「当院の安全対策」の全職員参加

医療安全研修「当院の安全対策」は全職種・全職員を対象として行っている研修で、開催時間や回数などを見直したほか、広報等の工夫により受講率100%となりました。

(2) 脳血管医療センター

① 確認行為の周知徹底

集合研修を実施したほか、各部署へは、指差し・声だし確認の目標を明確にするよう支援し、マニュアル通りに実施・記録できているかを確認しました。

② 医療安全研修の開催方法の工夫

医療安全研修の開催回数を増やし、フォローアップDVD研修の数も増やすことで、正規職員は全員2回以上研修に参加することができました。

3 インシデント報告件数

	23年度	24年度	25年度	対前年度 増 減
市民病院	3,232件	2,996件	3,380件	384件
脳血管医療センター	1,076件	973件	1,235件	262件
計	4,308件	3,969件	4,615件	646件

これらのインシデント報告を分析することにより、転倒・転落や薬剤の誤飲等の医療事故を防止し、診療業務や感染防止対策などにおいて、安全管理の視点に立った業務改善を行っています。

※インシデント： 医療従事者が医療を行ううえで、“ヒヤリ”としたり、“ハッ”とした経験で、医療事故には至らなかった事例をいいます。